

アルファテック510

アルファテック510は、コンクリート構造物の補強に用いるアラミド繊維シート用のエポキシ接着剤です。アラミド繊維シートへの含浸性能が高く、脱泡や密着作業が容易なので、施工性に優れています。

特長

- 圧縮、曲げ、引張に対して、高い強度を発揮するので、強靱なアラミド繊維強化プラスチック(AFRP)を形成できます。
- 含浸性能が高いため、脱泡や密着作業が容易で、施工性に優れています。
- 乾燥面はもとより、濡れたコンクリートにも、高い接着性能を発揮します。
- 無溶剤で低臭性なので、屋内施工に最適です。

用途

- 土木や建築におけるコンクリート構造物のAFRP補強

テクニカルデータ

未硬化物の性状(20℃)	アルファテック510	
	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	白色	青色
外観(混合)	淡青色	
混合比(重量)	2	1
粘度(混合)	13000±3000mPa·s	
比重	1.10±0.05	
可使時間	60分	

硬化物の性状			
試験項目	試験方法	養生条件	アルファテック510
圧縮強さ (N/mm ²)	JIS K 7208	20°C × 7日	55
圧縮弾性率 (N/mm ²)	JIS K 7208	20°C × 7日	1500
曲げ強さ (N/mm ²)	JIS K 7203	20°C × 7日	40
引張強さ (N/mm ²)	JIS K 7113	20°C × 7日	30
圧縮せん断接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS K 6852	20°C × 7日 (乾燥)	10 MF
		20°C × 7日 (湿潤)	8 MF
引張せん断接着強さ (N/mm ²) (鋼材相互)	JIS K 6850	20°C × 7日	15
硬 度 (ショア-D)	JIS K 7215	20°C × 7日	80

※MF:セメントモルタル破壊

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

使用方法

- ①下地処理：コンクリートの脆弱部や付着物を除去して下さい。
- ②プライマー塗布：アルファテック340エポキシプライマーを200g/m²を目安に塗布して下さい。
◇躯体にひび割れがある場合はアルファテック380エポキシプライマーを使用して下さい。
◇エポキシプライマーの使用方法は、各製品のカタログを参照して下さい。
- ③不陸修正：不陸や入角・出角をアルファテック220Hエポキシパテで修正して下さい。
◇エポキシパテの使用方法は、アルファテック220Hのカタログを参照して下さい。
- ④樹脂混合：主剤と硬化剤を重量比2：1で必要量を取り分け、樹脂ミキサーを用い均一になるまで1分程度混合して下さい。
・推奨樹脂ミキサー：HIKOKI変速ドリル(D10VH12/0～2600rpm)・ミキサーブレード(Φ80mm)。混合は500～1000rpmで使用して下さい。
- ⑤シート貼り付け：下塗り接着剤をムラ無く均一に塗布した後、アラミド繊維シートを貼り付け、上塗り接着剤を塗布して下さい。
- ⑥仕上げ塗装：含浸接着剤の初期硬化後、アルファコートE中塗およびU上塗で仕上げ塗装して下さい。

容器形態

【10kg / 9L セット】

主 剤 6.7kg (角缶)
硬化剤 3.3kg (角缶)

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願い致します。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行なって下さい。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹸水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜 本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550
URL: <https://alpha-kogyo.com> / E-mail: alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282
6-3-3 ASHIMARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN